



発行者/  
新発田市議会議員 小柳はじめ  
事務所：新発田市上楠川 388  
連絡所：新発田市大栄町 6-6-4  
TEL 0254-26-3596  
FAX 0254-26-6495  
mail info@koyanagihajime.jp

# 政治活動ジャーナル 小柳はじめ通信

KOYANAGI HAJIME JOURNAL 2023/03



## 議員活動報告

### 令和4年度下半期一般質問

#### 令和4年12月定例会

Q 四期目の市長は独自政策に着手できるのか？

Q 3期目の公約であった保育料全額無料化に取り組むとあるがその具体的な内容は？

A 9千万円の財源が必要になる上、新たな待機児童発生などの恐れもあり慎重に取り組みたい。

Q 3期目までは出来ないと言っていた政策がなぜ4期目にはできると変化したのか？

Q 給食費無償化は財源を理由に出来ないとの立場から今回の公約では取り組むに変わった。その変化は？

A 義務教育完全無料化だと新たに4億円が継続的に必要になるが行政改革や事業の見直しにより支給条件の拡大から取り組む。

Q 私の以前の質問に対して「市独自ではやらない」との答弁だったが、独自の奨学金返済支援制度を創設するとの公約だが制度設計は？

A 国の制度が変わり若者のUターンバックアップの目的から着手できる見込みとなり再来年度から実施したい。

◇◇◇◇◇

#### 令和5年2月定例会

Q 持続可能な消防団組織と操法大会の必要性は？

Q 総務省は「操法大会のための訓練が参加の阻害要因」と批判し操法大会不要論が全国的に話題となり大会を取り止める自治体も出てきたが今後の当市の方針は。

A 問題点は認識しているが決定権は消防団にあり事業見直し検討委員会の結論を尊重したい。

Q 防災全般で消防団の重要性は高まっており、待遇改善に併せて尊敬される組織へのイメージチェンジが必要では。

A 私も同感だ。地域住民をはじめ子供たちから憧れの存在となるよう広報に力を注ぐ。

Q 将来に向けての市内中学校統合について

Q 紫雲寺地区の統合が令和7年度に行われ、市内小学校統合は目処が付いたが、同じ顔ぶれで進級する弊害や切磋琢磨する環境が醸成しにくい。加速する少子化で中学校統合も準備すべきでは？

A 複式学級化の恐れは当面無く小規模校の利点も多い。広域統合は通学時間が長くなり現時点では考えていない。

## 3期目の活動報告

令和4年3月23日の2月議会閉会をもって任期中の定例会は全て終了しました。

3期12年で48回、1回も欠かさず一般質問を行い、その後実現した政策も多いです。

### 一般質問 令和元年6月定例会～令和4年9月定例会

#### 令和元年度6月定例会

Q 市長選挙・市議会議員選挙と続いた超低投票率について

Q 東港寄港のクルーズ船観光客の受入強化について

#### 令和元年度9月定例会

Q 職員の今後の人事施策とIT技術活用による効率的な業務への転換について

Q 新潟交通の阿賀町全路線撤退にみる公共交通の迫りくる危機

#### 令和元年度12月定例会

Q DMOの取組状況と今後の観光施策について

Q 学区外就学の児童生徒に対するフォローについて

#### 令和元年度2月定例会

Q 今こそ未来へ向けての戦略的投資を考えるべき時ではないか

Q 紫雲寺風力の株式売却についての説明は足りているのか

#### 令和2年度6月定例会

Q コロナ禍のピンチをチャンスへの転換点としてはどうか？

Q IT化の遅れをこの機会に一気に取り返してはどうか？

#### 令和2年度9月定例会

Q SDGsへの取組による地方の時代における自治体経営と魅力向上について

Q 文化振興による「都市の価値向上」とアートのあるまちづくり



コンサート終了後、出演の高橋洋子さんと

#### 令和2年度12月定例会

Q 飲食・観光産業に於ける一連の経済対策の検証とGoTo後の展望について

#### 令和2年度2月定例会

Q IT高度化の対応と地域通貨の連動による市民を豊かにする施策

Q コロナ禍中の市の利用料・税の収納事務とデリカシーなき窓口の対応

#### 令和3年度6月定例会

Q 地域限定5Gの導入を活性化の起爆剤に

Q 官製談合多発であぶり出された変節と対応策

#### 令和3年度9月定例会

Q 他人事でない「八街市通学路事故」にみる教育委員会の事なかれ主義

Q 市役所「札の辻広場」の活用に関して更なる活用を目指してはどうか



札の辻広場で開催された農産物マルシェ

#### 令和3年度12月定例会

Q 続・教育委員会の事なかれ主義と組織的問題

Q 街づくりに「プロボノ」の活用を検討しては

#### 令和3年度2月定例会

Q 第3回教育委員会の事なかれ主義と組織的問題

Q 空き家対策は危機感を持って挑む段階ではないか

#### 令和4年度6月定例会

Q 最終章！教育委員会の事なかれ主義と組織的問題

Q 男子中学生いじめ自殺事件の市と教育委員会の対応

#### 令和4年度9月定例会

Q 旧統一教会及び関連団体行事と市・教育委員会の関係

Q 紫雲の郷の経営悪化問題と今後の対処方針について

質問の内容全文と動画は小柳はじめ公式サイトよりご覧いただけます。

小柳はじめ

検索

## コラム 日々雑感

市民には正直「何をやっているのか解らない」地方議会です（私も若いときは正直その一人でした）が、意外にも皆さんの生活や街の行く末を左右する重要な事が日々決められています。国民を守るのは政府、市民を守るのは自治体ですが、その公僕である公務員と行政組織をどのように動かすかは、議会即ち国民市民の皆さんの意志にかかっています。

民主主義を守るのは、とても面倒で時間も掛かり一見非効率でもあります。その最たる例が解りにくく見えにくい「議会」でしょう。でも、意志決定のスピード感が際立つ独裁体制が良いのでしょうか？北朝鮮やロシア、中国の国民は自由で幸せに生きているのでしょうか？

全国的に選挙の投票率が低下し、地方議会では議員のなり手すら減ってきており、県レベルではなんと4割もの議会が無投票です。さらに地方自治体の長を決める首長選挙ですら無投票が激増しており、昨秋の新発田市長も20年ぶりに無投票での再選でした。

無投票は政治劣化の第一歩。そうやって主権者の無関心を巧みに利用して、ポピュリズム的政治が力を持ってきたのは歴史が証明しています。

今年4年に一度の統一地方選の年です。次の世代に民主主義の仕組みを残すことは、今の時代を生きる我々の責務だと思う今日この頃です。

# あなたと考えたい、新発田の今と未来のこと。

昨秋の市長選では二階堂氏が無投票再選しました。そこで今一度、市民の皆さんに考えてほしいことがあります。新発田市議会議員・小柳はじめによる、問題提起と未来への提案。

聞き手：Kyoko

## 地域のブランドと移住政策をつなぐ

——新発田市の産業に関する課題はどんなことがありますか？

後継者不足が最大の課題だと思います。新発田には優れた技術を持つ会社や歴史を重ねた素晴らしいブランドがたくさんあります。たとえばアイスの「スギサキ」さん。近隣の菓子店の寿堂さんがレシピを引き継いで事業承継することになりました。ただこれは、ごくまれな例。コロナ融資の返済がこれから始まります。すると高齢化と相まって廃業はますます増えるのではないのでしょうか。観光地の月岡でも寿司店や和食店など飲食店がなくなっています。

私は旅行会社を営んでいます。M&A（合併・買収）がらみの営業電話は毎日のかかってきます。そうではなく、もっとローカルなレベルで安心して事業承継があっせんする仕組みがあっても良いのではないのでしょうか。

——そのために市ができることは？  
U・I・Jターンのうまく結びつけることです。「今こういうお店がこんな状況です。やりたい人はいますか？」と全国に情報発信すれば若い人が興味を持つかも知れません。地域で愛されたお店が廃業する、その影響はただ「街から一つのお店

が消える」というだけではありません。市民はポツカリと心に穴が空き、活気や人流が減り、地域の衰退が更に加速します。もしお店やブランドを引き継ぎたいという移住者が来てくれたら、街も活気付きますし、移住者の方が新しい家庭を築く可能性もありますよね。



新発田商業高校の「クラブ活動」で空き店舗を活用

——その考え方は農業にも当てはまりそうです。

新発田市ではオーガニック米作りを昨年から始めました。今年度から興味のある人を地域おこし協力隊として募集したところ、県外から応募があるなど良い反響がありました。「付加価値がつくならやりたい」と考える若い人も多いのでしよう。オーガニックは欧米ではスタンダード。インバウンド、特に高単価の欧米客を呼び込むための強力なツールとして、ふるさと納税の差別化返礼品としても有効なアイテムにもなります。栽培は大変ですが差別化のため進めて欲しいと思います。

## チャレンジなくして未来はない

——最近リスクリング（学び直し）が話題です。

私自身、43才になってから新潟大学経済学部で社会人枠で入りました。工業高校を卒業し、化学メーカーで働いてからの起業だったのですが、経済や社会の構造などいろいろな面で学びが必要だったのです。今、会社は順調に成長しています。その大きなターニングポイントは、やはり大学で学び直したことです。思っています。

今は狭いエリアの防災のためになればと気象予報士の勉強中ですが、市民に学びの場を作るのも行政の重要な仕事だと思っています。特に地方は「今の生活でいい」「今あるものでいい」と言って新しいチャレンジを避ける傾向があります。でもこれからは、他より一つ頭を抜けて、キラッと光る魅力的な人や取り組みのある地域に、全国から人が集まるのではないのでしょうか。

——旧天王小学校跡地の活用は、独特の取り組みだと思えます。

そうですね。農業系ITベンチャーのラボとして活用したところ評判が良く、旧本田小学校の空き校舎を使って事業を拡大する予定もあるようです。子どもの教育の場だった学校が、社会人の研究施設や新しい産業の卵を育てる場になっていると考えると面白いです。



農業の省力化の研究施設が入居する「キネス天王」

## 中学校の統合は10年先を見据えよ

——若年層の人口流出についてはどうでしょうか。

新潟県は全国ワースト4位。新発田市と新潟市は県内ではまだマシな方ですが、コロナが落ち着いた途端、首都圏から地元に戻る流れが消えてしまいました。給料の比較では首都圏にかないませんし、若者にやりたい仕事がないのが一番大きいと思います。

繰り返しになりますが、他がやっていないような尖った取り組みをすることが若者の流出を抑え、全国から人を集めるためには重要だと思います。

——中学校統合について提起されていますね。

紫雲寺地区の3つの小学校を令和7年度に統合する目処がつき、市内小学校の再編はこれで一区切りだと思えます。この流れで中学校も統合する必要があると私は考えます。小規模校には様々なメリットもありますが、クラス替えは子どもにとって人間関係をリセットする貴重なチャンスです。今生まれた子どもが中学生になるのは12年後。「先を見据えて今から準備を始めた方がよい」と申し上げました。しかし10年以上先の話をしても、混乱の方が大きいからでしょうか、議会では問題意識や危機感を感じられませんでした。

## 消防練法は50年前のまま？

——消防団について議会で質問したそうです。

消防団のなり手不足が慢性的な課題となっています。1回の出勤で僅か2千円ほどだった報酬を見直して倍増させたり、定員を実情に

合わせたといった対策もしていますが、根本的に人員不足は解消していません。

理由の一つに消防団のイメージがあると思います。消防団に関する法律が作られたのが昭和23年で、練法に関する基準は昭和47年。そのままの流れで「消防団＝火消し」と思っている人が多いかもしれません。が、実は近年、火災による出動件数はとても少ないんです。理由は住宅建材の機能向上などにより火事そのものが減ったこと。消防署のプロの消防士でも火災現場を経験したことのない若手職員が増えているそうです。

## 消防団は住民を守るヒーローへ

——では消防団の仕事は？

火の用心で巡回したり火災報知器設置を啓発したりはイメージしやすいですが、大雨の時に土嚢を積んだり、地震や災害での避難誘導、被災者のケア、徘徊する認知症の方を探すことさえもありません。



所作や号令、タイムなどで競う「ポンプ練法大会」

——そんな仕事もあるとは全然知りませんでした。

そういう人が多いと思います。消防団には「消防操法（そうほう）大会」としてポンプや消火ホースなどの消防機械・器具の扱いを競う大会があります。それも声の出し方や走り方の良し悪しで点数がつく。あまり実際に即しているとは

言えません。消防団はもっと幅広い仕事をしている。火消しだけではなく、住民を守るヒーローと位置付けたほうが良いのではないのでしょうか。

紫雲寺地区は消防団の活動が盛んで人員不足もないそうです。なぜかと言うと、地域ぐるみのイベントで小さい子どもを消防車に乗せてあげたり、パーベキューをしたりと住民との距離感が近いんです。そうすると家族の理解も得やすいですね。

## こちらにも気になる新発田のトピックス

——電気が高騰しています。以前から地域電力の設立を提唱していますね。

現在の地域電力は、よそから電気を仕入れて売る仕組みが一般的です。しかし今後は自治体自らが発電施設を持ち、発電所の運営から電気の小売まで自分たちでやるべきではないでしょうか。新発田には藤塚浜の風力発電が古くからあり、内の倉ダムの活用をはじめ小水力発電の可能性も秘めています。さらに住居屋根に太陽光パネルを上げている家庭から市が電気を買い取るなどして電力料金を安定させ、同時に市から流出するお金を減らすこともできるのではないのでしょうか。

——世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関わりについても、市民は気になると思っています。お願いです。

過去には旧統一教会が名前を隠して新発田の歴史に関するさまざまなイベントを頻りに開催していました。今はないですが市長や議員がイベントで来賓挨拶をしたことはあります。私はそもそも「宗教と政治はキッチリ分けるべき」との信念がありイベントに参加したことはありません。